

# 地域のたから東西線編

沿線ぶらり散歩



## 「謎の石碑に守られた田園地帯」

仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道

第3回 六丁の目駅

### 不思議な石碑

「六丁の目」。不思議な地名です。今は「の」を入れるので紛れませんが、以前は「六丁目」と書くのが一般的で、これだと「六丁目」と誤解される事態も出そうですね。

この不思議な地名は、ある石碑に由来して付けられたものと言われています。その石碑は、左右反転した「南無阿弥陀仏」の文字が浮き彫りになった、高さ一メートルあまりのもので、石碑の文字は、弘法大師の筆跡とも、一遍上人が石に書いた字がいつの間にか浮き彫りになったとも言われています。

念仏を唱える際の「南無阿弥陀仏」の語は、その文字数から「六字名号」とも呼ばれています。この石碑も「南無阿弥陀仏」が刻まれていることから「六字の銘(ろくじのめい)」と呼ばれていたのが、いつのまにか発音が変化して「六丁目(ろくちようめ)」になり、それが地名となった、と伝えられています。



六丁の目の地名の由来となった石碑。鎌倉時代の石碑をもとに、後世に「南無阿弥陀仏」の文字が刻まれたと考えられている。

いま、この石碑は七郷六丁目コミュニティセンターの前にある太子堂の堂内に祀られています。「南無阿弥陀仏」を刻んだ石碑はごく一般的に見られますが、この石碑のように文字が左右逆に刻まれているものはほとんどありません。この石碑の謎、いつ、だれが、どんな目的で建てたものなのか、明らかにする日を待ちたいものです。

### 江戸時代の六丁目

太子堂の周りには、十数基の石碑が今も残されています。湯殿山や金毘羅大権現の大きな石碑にまじって、「孝子藤生碑」と大きく刻まれた石碑も並んでいます。

この石碑は、文政6(1823)年に死去した六丁目村の住人・喜左衛門(藤生)を記念して、特別に藩の許可を得て建てられたものなのです。喜左衛門は六丁目村の肝入(地域の名主や庄屋に相当)の跡取り息子で、母親が脳卒中で倒れてから約八年間、献身的にその介護にあたりました。しかし看病の甲斐なく母親が没すると、嘆き悲しんだ喜左衛門は三ヵ月後に病没してしまつたのです。

この話は、付近のみならず遠くまで広がりました。喜左衛門の孝心に感動した各地へ遠くは現在の泉区や青葉区西部の村も含む一の肝入ら三〇人ほどが藩に願ひ出て、この石碑が建てられたのです。



今は古い家や水田もあらかた姿を消してしまいました。こうした石碑の存在からわかるように、かつての六丁の目一帯は平野部にあった農村でした。昭和40年代前半までは大きな水田地帯に農家が点在するような場所でしたが、国道4号仙台バイパスや産業道路の建設により、一帯は事務所や工場、倉庫、商業施設、そしてマンションが立ち並ぶ新しい「まち」と変貌してしまいました。

しかし、かつての面影を伝えるものは、石碑の他にも残されていました。それは地名です。六丁の目の西北にある「鶴代町」の由来は興味深いものです。

かつてこの一帯は鶴の飛来地で、藩主の狩場となっていました。鶴がこの地に舞い降りて狩がしやすくなるように、いくつもの鶴の「代(『模型』)を作って地上に置いたことが地名の由来となったのです。六丁の目には、今では想像もつかないような多くの自然と共に生じた農村の暮らしが広がっていたのです。

特別展 国立カイロ博物館所蔵

## 黄金のファラオと大ピラミッド展

エジプトの至宝、ファラオの「黄金のマスク」、ついに仙台に初登場！吉村作治氏監修の特別展がこの春、待望の開催。

【観覧料】一般:1,500円(前売1,300円)、高校・大学生:1,200円、小・中学生:800円

●前売券お求め先(4/21(木)まで)●

藤崎、仙台三越、さくら野百貨店仙台店、ローソンチケット(Lコード:25646)、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード:767-268)、イープラス、イオン利府店、イオン名取店、イオン仙台中山店、イオン多賀城店、イオン石巻店、イオン仙台幸町店、イオン富谷店、日専連カウンターアエル店、ニッセン・テラス セルバ店、河北新報販売店、TBCホームページ、仙台市博物館ミュージアムショップ

■主催:「黄金のファラオと大ピラミッド展」仙台展実行委員会(仙台市博物館、TBC東北放送、河北新報社)  
■監修:吉村作治氏(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士)  
■企画制作:TBSテレビ ■協力:国立カイロ博物館、エジプト・アラブ共和国考古省、学校法人昌平賢 東日本国際大学、NPO法人太陽の船復原研究所、日本エジプト学会、早稲田大学エジプト学研究所広報部、独立行政法人国際協力機構(JICA)、カタール航空、ルフハンザカーゴAG、日本通運 ■協賛:三井ホーム

4/22(金)~6/26(日)

【関連イベント】

吉村作治氏記念講演会 〈事前申込制・聴講無料〉

「古代エジプトのファラオと巨大ピラミッドの謎」

4/22(金) 13:30~14:30

4/23(土) 11:00~12:00、14:00~15:00

お申込み方法・イベント詳細は仙台市博物館ホームページまたは「黄金のファラオと大ピラミッド展」公式ウェブサイトをご覧ください。※応募締切 3/30(水)

TBC 黄金のファラオ 検索

「黄金のファラオと大ピラミッド展」仙台展実行委員会事務局(TBC東北放送事業部内) TEL:022-227-2715



アメンエムオプト王の黄金のマスク  
第3中間期 第21王朝(前993~984頃)  
国立カイロ博物館蔵

仙台市博物館  
SENDAI CITY MUSEUM

開館時間:午前9時~午後4時45分(最終入館午後4時15分)●3月の休館日:毎週月曜日(3/21は開館)、3月22日(火)

TEL:022-225-3074

〒980-0862仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

▶HP: <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/> ▶ツイッター @sendai\_shihaku